

## R04年度実績評価特記事項素案

| 大項目            | 小項目 | 各委員のコメント   | 素案(事務局作成)  |
|----------------|-----|--|--|
| (1) 教育研究等の質の向上 | 1   | <p>国家試験の高い合格率が就職率を後押しし、高水準を維持している要因であると思います。授業を通じて専門知識やスキルを身につけ、国家試験に合格すればそれを武器に医療福祉分野での活躍が期待でき、ひいては、本学の評価にもつながっていくものと思いますので、更なる実績を積み上げていただきたい。</p> <p>【ご質問】作業療法学専攻の卒業生1名の未就職の原因は何でしょうか。</p> | <p>授業における専門知識やスキルの習得が国家試験の高い合格率につながり、高い就職率の水準を実現している。医療福祉分野での活躍は、大学の評価に直結するため、更なる教育の充実を期待する。</p> <p>※質問については別途、回答(大学)</p>  |
|                | 2   | <p>学生アンケートを反映した新カリキュラムの適用と、丁寧なモニタリング等を通じて、引き続き、国家試験合格率100%を達成できている点、評価します。</p>   | <p>学生アンケートを反映した新カリキュラムの適用、丁寧なモニタリング等、学生に寄り添った対応により、国家試験合格率100%を達成をしている点を評価する。</p>  |
|                | 3   | <p>教育の一貫性を高める取り組みや、学生の変化に応じた対応等を評価します。また、全国平均の56.6%を大きく上回る100%の国家試験合格率を常に達成している点、評価します。</p>  | <p>教育の一貫性を高める取り組みや、学生に寄り添った対応に加え、全国平均を大きく上回る国家試験合格率100%を達成した点を評価する。</p>  |
|                | 4   | <p>実習指導者の養成を通じた実習の質の向上や、対人援助の現場に即した取組みを評価します。また、精神保健福祉士について、国家試験合格率100%を達成したことを評価します。</p> <p>【ご質問】社会福祉士の国家試験合格率数値目標が、他学部100%に比較して始めから低い理由は何ですか。目標は同じ100%であるべきかと思えますが。</p>                    | <p>実習指導者の養成を通じた実習の質の向上に加え、精神保健福祉士国家試験合格率100%を達成した点を評価する。</p> <p>※質問については別途、回答(大学)</p>                                      |
|                | 5   | <p>実習実施の難しさの残る中、演習に障害当事者の方にご協力頂く等、多くの工夫を継続されている点を評価します。</p>  | <p>演習において障害当事者の協力を取り入れるなど、実習方法を工夫し、実習の質を高めている点を評価する。</p>   |
|                | 8   | <p>海外大学との連携による取組みの今後の更なる深化と、また、SHI発ベンチャーとの関係継続による相互の学びを期待します。</p> <p>【ご質問】ベンチャー企業の創発は高く評価できます。それはどのような形で貴学にフィードバックされるのでしょうか。</p>   | <p>海外大学との連携による取組みの深化と、大学発ベンチャーとの関係継続による相互の学びの深化を期待する。</p> <p>※質問については、別途、回答(大学)</p>  |
|                | 9   | <p>全課程遠隔での運営を実施するとともに、将来ビジョンの見直し、SHIとの協働、実践研究への取組み等、大きく前進しておられる印象です。</p> <p>リサーチカフェの立ち上げ等、教職員間における研究取組みの努力は評価できます。</p>   | <p>全ての課程を原則遠隔授業で実施することにより、専門職の実践能力向上を通じて、人材育成に努めている。また、SHI等との協働による実践的な事業への取り組みや、リサーチカフェの立ち上げによる教職員間での研究に関する情報共有も評価できる。</p> |
|                | 10  | <p>ディプロマポリシー修得度調査の試みが、次年度以降に具体的に反映されることを期待します。授業評価の実施率100%結果の、更なるご活用を期待します。ゲストスピーカーの多様性がもたらす効果に期待します。実習指導者との協働の取組みは多くのご苦労があったことと思います。</p>  | <p>ディプロマポリシー修得度調査や授業評価の実施率100%の取り組みが、さらなる教育の質の向上につながることに期待する。また、ゲストスピーカーの活用がもたらす教育への効果に期待する。</p>                           |
|                | 11  | <p>助産師課程につき、文部科学省の承認を当初予定よりも早く得られた点、評価します。教育内容に学生の意見を取り入れ、教育方法も学生の意見を引き出す工夫等もされており、今後、双方向性がさらに向上することを期待します。</p>  | <p>助産師課程に関して、速やかに文部科学省の承認を得た点を評価する。また、学生に寄り添った教育内容・方法を評価する。今後も教育における双方向性の深化に期待する。</p>                                      |
|                | 13  | <p>公正な成績評価のため、全ての科目に評価基準を明確に設定した事は、高く評価できます。</p>   | <p>公正な成績評価のため、全科目に明確な評価基準を設定した点を高く評価する。</p>  |

## R04年度実績評価特記事項素案

| 大項目 | 小項目  | 各委員のコメント   | 素案(事務局作成)   |      |      |    |    |    |    |     |     |     |      |      |    |      |      |      |      |      |   |
|-----|------|--|---|------|------|----|----|----|----|-----|-----|-----|------|------|----|------|------|------|------|------|---|
|     | 17   | <p>ラーニングコモンズの設置を評価します。</p> <p>【ご質問】 本学OBから書籍（または書籍購入費用）の寄付を募り、蔵書を充実させてはいかがでしょうか。</p> <p>【ご質問】 電子ジャーナルへのリモートアクセスの対応とは具体的にどの様なものですか。</p>   | <p>ラーニングコモンズの設置を評価する。</p> <p>※質問については別途、回答(大学)</p>                                    |      |      |    |    |    |    |     |     |     |      |      |    |      |      |      |      |      |   |
|     | 18   | <p>【ご質問】 FD、SDに不参加の教員に対してはオンデマンド視聴を義務化しているのでしょうか。</p>  | <p>別途、回答(大学)</p>  |      |      |    |    |    |    |     |     |     |      |      |    |      |      |      |      |      |   |
|     | 19   | <p>アドミッションセンターの設立準備が進められた点、評価します。</p> <p>【ご質問】 学生の受入評価に関する数値目標を大学説明会の実施回数とされていますが、説明会の実施は手段であって目的ではないと思いますので、入学者受験倍率などの基準で評価される方がより分かりやすくなると思います。<br/>※ 過去の説明会開催回数と受験倍率との関係を見ると…</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>68回</td> <td>66回</td> <td>46回</td> <td>140回</td> <td>141回</td> </tr> <tr> <td>倍率</td> <td>2.9倍</td> <td>2.7倍</td> <td>2.6倍</td> <td>2.2倍</td> <td>2.3倍</td> </tr> </tbody> </table> <p>R3、R4の説明会開催数はH30、H31と比べると約2倍です。一方、受験者倍率は年々減少傾向となっております。新型コロナウイルス感染症の影響もあり一概には言えない環境であるかもしれませんが、受入評価に当たっては分析すべき指標であると思いますし、その結果を来期の目標に反映させてはいかがでしょうか。</p> <p>【ご質問】 オープンキャンパス、進学相談会、各種大学説明会等に参加した学生数に対する受験率や実際の入学者数のデータは有るのでしょうか。有れば、最も効率的な学生確保の手法は何でしょうか。</p> |   | H30  | H31  | R2 | R3 | R4 | 回数 | 68回 | 66回 | 46回 | 140回 | 141回 | 倍率 | 2.9倍 | 2.7倍 | 2.6倍 | 2.2倍 | 2.3倍 | <p>学生確保のため、戦略的な入学者選抜のあり方を検討することを目的として、アドミッションセンター設立準備を進めた点を評価する。</p> <p>※質問については別途、回答(大学)</p> |
|     | H30  | H31  | R2  | R3   | R4   |    |    |    |    |     |     |     |      |      |    |      |      |      |      |      |   |
| 回数  | 68回  | 66回  | 46回   | 140回 | 141回 |    |    |    |    |     |     |     |      |      |    |      |      |      |      |      |   |
| 倍率  | 2.9倍 | 2.7倍   | 2.6倍  | 2.2倍 | 2.3倍 |    |    |    |    |     |     |     |      |      |    |      |      |      |      |      |   |
|     | 21   | <p>受講者の受講しやすさへの対応や、定員を下回る過程の分析等、課程、研修のあり方の検討が進んでいる点を評価します。引き続きの受講生確保に向けた取組みを期待します。</p>   | <p>受講者目線での課程・研修の実施、また、センターにおける教育のあり方について検討を続けている点を評価する。今後も、受講生確保に向けた継続的な取組みを期待する。</p> |      |      |    |    |    |    |     |     |     |      |      |    |      |      |      |      |      |   |
|     | 22   | <p>学生に寄り添った支援に感謝します。コロナ禍に高校生活を過ごした学生にとって、貴重な時期と思います。より多くの方と対面でコミュニケーションを取れる機会ができることを期待します。</p> <p>【ご質問】 学生のコロナ発生率は把握しているのでしょうか。</p>  | <p>学生に寄り添った支援を評価する。今後も、対面でのコミュニケーション機会のより一層の確保を期待する。</p> <p>※質問については別途、回答(大学)</p>     |      |      |    |    |    |    |     |     |     |      |      |    |      |      |      |      |      |   |
|     | 23   | <p>就職内定者のアンケートで「満足」が96%である点、評価します。</p>   | <p>就職内定者のアンケートにおける「満足度」が96%である点を評価する。</p>   |      |      |    |    |    |    |     |     |     |      |      |    |      |      |      |      |      |   |

## R04年度実績評価特記事項素案

| 大項目   | 小項目  | 各委員のコメント   | 素案(事務局作成)  |
|---|--|--|--|
|   | 24   | 特に、神奈川県と連携した未病指標の精緻化等に関する実証事業について、中期目標でも言及されており、高く評価します。   | 神奈川県と連携した未病指標の精緻化等に関する実証事業について高く評価する。また、学術論文の質的評価において改善がみられる。今後も引き続き、学術論文の質的評価が具体化されることを期待する。                    |
|   |  | 学術論文の質的評価は、昨年よりは具体化していますが、英文152本のインパクトファクター総計が有ればより評価し易いと思います。それは普遍的価値として高く評価されるかと思いません。この集計は図書館の事務で行えば難しいことではないかと思えます。この件については、その他の所で述べたことと関係してきます。 |  |
|   | 25   | 研究倫理についての研修の充実等を評価します。「研究機関別女性採択比率上位30位機関のうち5位」へのランクインを評価します。サバティカル研修制度の今後の活用を期待します。   | 研究倫理研修の充実を評価する。また、「研究機関別女性採択比率上位30位機関のうち5位」へのランクインは評価できる。研究実施体制整備としてのサバティカル研修制度の今後の活用を期待する。<br>※質問については別途、回答(大学) |
|   |  | 【ご質問】 科研費申請件数は増加していますが、助教以上の申請可能教員数に対する申請比率は何%でしょうか。P68、申請件数は全体で77件あるいは53件、どちらでしょうか。   |  |
| 27  | 【ご質問】 産学官連携によるイノベーションによって貴学への収益と結びついた例はあるのでしょうか。 | 別途、回答(大学)  |  |
| (2) 業務運営の改善・効率化                             | 31   | 【ご質問】 事務職員の評価は具体的にどのように行っているのでしょうか。  | 別途、回答(大学)  |
| (3) 財務内容の改善                                 | 32   | クラウドファンディングの活用や受託研究等における間接費率の設定等、新たな取組みを評価します。   | クラウドファンディングの活用や受託研究等における間接費率の設定等、新たな取組みにより自己収入の確保に向けて努力した点は評価できる。<br>※質問については別途、回答(大学)                           |
|   |  | 【ご質問】 科研費申請件数は56件となっておりますが、P68では53件となっております。継続を含むと77件となりますが実際には新規、継続各々何件でしょうか。   |  |
|   | 33   | 【ご質問】 自己収入増加のために、本学OBからの寄付を募ってはいかがでしょうか。   | カーボン・ニュートラルの議論の進展に期待する。<br>※質問については別途、回答(大学)   |
| 県でも脱炭素ビジョンを掲げていますし、カーボン・ニュートラルの議論を期待しております。 |  |  |  |
|   |  | 【ご質問】 実際にガス光熱費用は何%上昇したのでしょうか。  |  |

## R04年度実績評価特記事項素案

| 大項目        | 小項目 | 各委員のコメント   | 素案(事務局作成)  |
|------------|-----|--|--|
| (4)その他業務運営 | 37  | SNSの活用も進み、着々と向上させておられるので、引き続きの工夫に期待いたします。  | 今後もSNSの活用をはじめとした情報発信による広報の強化とあわせて、情報公開の推進に取り組まれることを期待する。 |
| (5)点検・評価   | 40  | 自己評価の取組みが理解しやすいご説明になっていると思います。   | 自己評価の取組みが分かりやすく説明されている。今後も引き続き、法人運営の透明性が確保されることを期待する。    |
| その他        | -   | コロナ禍に高校生活を過ごしてこられた学生の皆様と向き合い、引き続き実習実施の困難もある中、教育全般に関して高い成果を上げておられると考えます。  | 学生に寄り添った対応により、教育の質の確保を図り、教育全般に関して高い成果を上げている点は評価できる。      |
|            | -   | 【ご質問】事業報告書(資料14)の12. 職員の状況について、事務局員28名の内23名が県からの派遣となっていますが、何年毎に異動するのでしょうか。人材育成や教員との持続的な協力関係構築の上からも、少なくとも事務長レベルを含め半数は直接大学採用にすべきと思いますが如何でしょうか。職員の大学への帰属意識は如何でしょうか。図書館事務員2名とも派遣となっていますが、業務に限界はないのでしょうか。個々の事務職員の目標設定についてはどのように考えておられるのでしょうか。 | 別途、回答(県及び大学)   |
|            | -   | 【ご質問】入学者数、国家試験合格率、就職率、学生評価等定量的に示されている部分の評価は容易ですが、ほとんどの項目が定性的であり、評価方法そのものがすでに形骸化している感を否めません。  | 別途、回答(大学)  |